

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	契約検査課担当課長 大山 晶宏	
総務-20	実施事業	検査事務	☒ 自治事務	主管課 契約検査課
			☐ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	事業者(工事等施工業者)
意図	工事目的物等が設計図書に定められた出来形や品質等を満足しているか、完了の確認をするため。
効果	公共工事等の質の向上を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・工事担当課の依頼により、工事目的物又は委託業務の成果物が設計図書に定められた出来形や品質等を満足しているか給付の完了を行うとともに、検査時の指導を通じて工事等の適正な施工の確保と技術水準の向上を図った。
・工事について、中間技術検査や随時検査(抜き打ち検査)を行い、監視体制の強化を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	87	当初予算(千円)	84	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	87	一般財源	84	
	人員配置数	2.5	人員配置数	3.0	
事業経費運営	人件費(千円)	18,776	人件費(千円)	22,951	
	総事業費(千円)	18,863	総事業費(千円)	23,035	
	市民1人当りの経費(円)	106	市民1人当りの経費(円)	131	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	公共工事等の質の向上を図るための検査等に要する経費であり、現状の予算規模の範囲で対応していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き、鎌倉市工事検査規程や、鎌倉市建設工事施行取扱規程に定める検査等により公共工事等の質の向上に努める。	

